

平成 2 2 年度当初予算 施策別概要

1 3 1 文化にふれ親しむことができる環境づくり

(主担当部：生活・文化部)

- 13101 文化芸術の裾野の拡大と頂点の伸長 (生活・文化部)
- 13102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用 (教育委員会)
- 13103 埋蔵文化財の保存・継承・活用 (教育委員会)
- 13104 文化芸術を通じた他地域、他分野との
連携・交流と発信 (生活・文化部)
- 13105 文化芸術活動支援のための体制整備 (生活・文化部)

< 施策の目的 >

(対象) 県民が

(意図) 多様な文化芸術にふれ親しみ、地域の歴史や文化を大切にしている

< 施策の数値目標 >

施策目標項目 (主指標)		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
音楽、美術などのさまざまな芸術や文化と直接ふれ親しめる機会が多いことに対する満足度	目標値	-	18.2%	18.5%	18.8%	19.0%
	実績値	17.9%	21.6%	20.7%		

—万人アンケートにおいて、「音楽、美術などのさまざまな芸術や文化と直接ふれ親しめる機会が多いこと」に対して、「満足」、「どちらかといえば満足」と回答した人の割合

県の取組目標項目 (副指標)		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
三重県総合文化センター利用者数	目標値	-	650,000人以上	650,000人以上	650,000人以上	650,000人以上
	実績値	666,002人	647,195人	650,598人		
「活かそう地域文化提案事業」参加者数	目標値	-	12,430人	13,530人	14,250人	15,000人
	実績値	9,516人	12,423人	15,938人		
文化芸術情報アクセス件数	目標値	-	17,300件/月	17,800件/月	18,300件/月	18,800件/月
	実績値	16,749件/月	14,802件/月	15,117件/月		

< 進捗状況 (現状と課題) >

- ・ ライフスタイルの変化や価値観の多様化等、社会の成熟化が進むなかで、人々は「癒し」や心の充実感を求め、歴史・伝統、自然、文化芸術にふれ親しむ機会を重視しています。このような変化に対応し、県民が多様な文化芸術を享受し、感性を磨き、生活の質を高めることができる環境づくりを進めていく必要があります。
- ・ 「三重の文化振興方針」では、文化会館や生涯学習施設等を「文化と知的探求の拠点」と位置づけ、個々の拠点の充実および拠点相互の連携による機能強化を進めることとしています。
- ・ 総合文化センターでは、文化芸術と生涯学習等の複合施設である特性を生かし、他の拠点や文化団体との連携を行いながら、さまざまな文化芸術にふれ親しむ機会の提供や県民による文化芸術活動への支援、人材育成等を進めています。
- ・ 新県立博物館の整備については、とりまとめた建築および展示に関する概略設計について、県民の皆さんに説明し、いただいたご意見を詳細設計に反映するよう検討を進めてきました。今後は、施設整備とあわせて、平成21年度に行っている博物館の魅力を広く伝えるためのワークショップの開催やこども会議など、より魅力的な博物館活動や運営のための検討や基盤づくりのための取組を、引き続き進めていく必要があります。
- ・ 文化財や風習などを長年にわたって保存・継承してきた地域の絆が希薄になる傾向にあることから、県民自らが文化財等を地域の誇りとして大切にしていけるための支援や取組が必要となっています。

< 平成 2 2 年度の取組方向 >

引き続き、文化芸術の発表の場づくりを行うとともに、県の「文化と知的探求の拠点」や多様な主体が連携して、県民の皆さんが多様な文化芸術にふれ親しみ、また、自らが文化芸術活動の主体

となれる環境づくりに取り組みます。

三重県総合文化センターは、質の高い文化芸術公演の実施、次世代を担う子どもたちを中心とした人材育成、文化芸術の推進主体とのネットワークの構築、アウトリーチ活動による文化芸術活動の支援などを進めます。

新県立博物館については、建築工事の着手など、必要な施設整備を進めるとともに、引き続き「ともに考え、活動し、成長する博物館」の実現をめざして、地域の博物館や大学、学校と連携した具体的な取組、県民の皆さんの参画によるプログラムづくりやしきみづくりを進めます。

国史跡齋宮跡は、齋宮歴史博物館やいつきのみや歴史体験館の機能・役割を十分踏まえ、地域と連携しながら、史跡全体を博物館と考えるサイトミュージアム構想の実現をめざします。

多様な文化財の調査を進め、県民にとって重要なものを国・県指定文化財等に指定・登録を進めることにより、保存・継承をはかります。

国・県指定文化財の保存、修理、活用を、市町、保存団体および所有者等と協働して行うとともに、文化財を活用した地域の自主的な活動や歴史・文化を活かしたまちづくりを支援します。

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について、次世代に継承されるよう、和歌山県、奈良県および関係市町等と協働して保存と活用に努めます。

<主な事業>

文化にふれる機会提供事業【基本事業名：13101 文化芸術の裾野の拡大と頂点の伸長】

予算額：(21) 15,015千円 (22) 9,500千円

事業概要：「県民文化祭」「県展」「音楽コンクール」を県民総ぐるみの文化の祭典「みえ文化芸術祭」として同時期・一体的に開催します。ただし、県展については、開催時期の変更（5月予定）により平成22年度は開催準備のみとなります。

(舞) 次世代の文化体験活動推進事業

【基本事業名：13104 文化芸術を通じた他地域、他分野との連携・交流と発信】

予算額：(21) 2,987千円 (22) 9,120千円

事業概要：「次世代の文化体験推進委員会（仮称）」を開催し、取組をさらに広げていくための新たなしくみについて検討します。また、6種類の体験プログラム等を実践するとともに、人材育成・発掘や文化体験の取組等を情報発信・把握するためのフォーラムや研修会等を開催します。

(新) 総合文化センター駐車場整備事業【基本事業名：13105 文化芸術活動支援のための体制整備】

予算額：(21) - 千円 (22) 757,531千円

事業概要：駐車場不足の解消をはかり、県民が快適かつ安全に総合文化センターの各施設の利用ができるよう立体駐車場の整備を行います。

(一部新)(舞) 新県立博物館整備事業【基本事業名：13101文化芸術の裾野の拡大と頂点の伸長】

予算額：(21) 302,029千円 (22) 2,708,665千円

事業概要：三重の自然と歴史・文化の資産を保全、継承、活用し、三重の人づくり、地域づくりに貢献する「文化と知的探求の拠点」としての新県立博物館の開館に向けて、県民・利用者の皆さんとともに、公文書館機能の整備を含め、調査研究、収集保存、活用発信の博物館活動や運営のしくみ等の構築、施設の建築や展示のための取組を進めます。

(一部新) こころのふるさと齋宮づくり事業【基本事業名：13103 埋蔵文化財の保存・継承・活用】

予算額：(21) 28,780千円 (22) 40,456千円

事業概要：齋宮跡の中心的役割を担ってきた東部地域の3年間の発掘調査により、その全容が明らかになってきたことから、平安時代を体感できるサイトミュージアムとして国史跡齋宮跡の具体化を進めます。

活かそう美し国の文化財事業【基本事業名：13102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用】

予算額：(21) 73,880千円 (22) 114,572千円

事業概要：美し国三重の重要な地域資源である文化財を活かした市町のまちづくりマスタープランの策定や、所有者、地域住民等からの提案による文化財の活用と文化財の修復等とをあわせて支援します。